

令和元年度 第3回恵那市地域包括支援センター運営協議会 会議録

日時：令和2年1月16日（木）

午後1時30分～

場所：恵那市役所 第2委員会室

1 開会

2 あいさつ

3 議事

（1）恵那市地域包括支援センター運営体制の充実・強化について

（2）令和元年度活動中間報告について

（3）令和2年度事業計画について

（4）令和元年度の予算状況について

（5）介護予防サービスプラン作成業務の委託先について

（6）その他

4 閉 会

1 開会

■事務局（進行） 第3回恵那市包括支援センター運営協議会を始める。昨年12月1日に民生委員の改選があり委員の交代があったので委嘱書を交付する。医療福祉部長の可知よりお渡しする。青山恵美子さんはその場でご起立ください。

[委嘱書を交付]

■事務局（進行） 青山委員にあいさついただく。

■青山委員 民生委員常任協議会から来た。任期が12月からなので他の人とはかなり違うと思うが、今回高齢福祉部会長という役を賜りこの会に参加する。よろしく願います。

2 あいさつ

■事務局（進行） レジューメに従って進める。初めに、西協会長からあいさつ申し上げる。

■会長 寒い中ありがとうございます。会議が円滑に進むよう協力をお願いします。

3 議事

（1）恵那市地域包括支援センター運営体制の充実・強化について

■事務局（進行） 議事進行を会長に願います。

■会長 （1）について事務局から説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 意見はあるか。恵南に1つ新しく作るということで、それが山岡振興事務所にできるということによいか。意見がなければ承認されたものとする。

2-（3）、笠周地域の高齢者相談窓口を巡回型で行うということについて、意見はないか。

では、これもこのまま新規でやっていただくということにする。

（2）令和元年度活動中間報告について

■会長 （2）について説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

(3) 令和2年度事業計画について

- 会長 (3) について説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

- 会長 質問はあるか。
なければ、このまま令和2年の事業をどんどん進めてください。
- 事務局 先ほどの安心見守り登録制度について、委員の御意見をいただきたい。
- 会長 意見はあるか。
- 委員 徘徊の位置探索端末はどこで？
- 事務局 市役所だ。
- 委員 何か基準はあるか。
- 事務局 基準がある。
- 事務局 基準としては認知症高齢者の日常生活自立度というのがあり、その1ランク以上、認知症生活自立度が1の人ということで、歩ける認知症の人を想定している。
- 事務局 認知症高齢者の日常生活自立度1というのは、ある程度認知症の症状は物忘れなどがあるが、日常生活が安全にできるという人のランクがあり、そのような人だ。また、体の日常生活自立度という規定もある。隣近所、交通機関を使って外出できる人を想定している。いろいろなところに行けるが物忘れがある人、またもの忘れや薬が飲めない、認知症の症状がひどい人で、歩いて、認知症があるが、体は元気という人。こういう人が山の中に入って行ってしまったりという時にGPSで検索する。
- 委員 これはどういうところに付けるのか。
- 事務局 マッチ箱ぐらいの機械があり、それを本人のポケットやかばんに持って行っていただかないと検索できない。なので、今回のシールは30枚ぐらいあり、どの服にもアイロンで貼ることができ、本人の気づかない後ろなどに貼っているという他市もある。
- 委員 シールを貼るのにお金がかかると聞いているが、かかるのか。
- 事務局 市としては、バーコードの形を作るのにいくらかかるが、一度作れば継続する。本人・家族負担が30枚なら3千くらい、40枚ならいくらという、3000円から4000円位の自己負担になる。
- 委員 任意事業のところ、徘徊高齢者家族支援サービス事業という、徘徊という用語を、ちょっと検討してほしい。いろいろ事業をやっている中で、徘徊という言葉はなくし

ていこうという話になっていると思う。

■事務局 繁澤先生に、以前も徘徊という言葉に対して意見をいただいた。違う言葉で表していければと思っている。

■委員 はつらつリーダー養成講座だが、6名の生徒、はつらつサポーターに対して、理学療法士が2名みえると思うが、理学療法士が2名も要らないのではないかと思う。脳トレニングで1人2500円の負担で講座を受けているが、2500円の負担が多いから、そういう養成講座で理学療法士を2人も使わないで、脳トレも1人2500円の負担をなくすかもっと安くした方がいいと思う。

■事務局 リーダー養成講座は県の理学療法士会に委託しているもので、茨城から先生が来ている。もう1人補助が来ており、1名の時もあったり、シルバーリハビリというのはどこでもやっていることではなく、できる先生に限られているので、1人の先生に決めてしまうとその先生が忙しいときに違う人ができないので、2名だったり1名だったり、引き継ぎの意味もあって2名体制でやっている。確かに理学療法士の先生にお願いしているので安い講座ではないが、テキストを使って専門職のように勉強をしていただいているので、10名が精一杯かなと考えている。

脳の健康教室は自己負担が高いという声も聞こえる。これでいいという声もある。出席者に毎回アンケートを取り、また調整していきたい。

■会長 ほかにないか。

では、安心見守り登録制度はそのまま進めていただくということにする。

(4) 令和元年度の予算状況について

■会長 (4) について説明を求める。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 質問はあるか。なければ次に移る。

(5) 介護予防サービスプラン作成業務の委託先について

■会長 (5) について説明を求める。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 名前が変わっているが中身は変わってないということだ。このままでやっていた
だくということでいいか。

■ (意見なし)

■会長 ではお願いします。

(6) その他

■会長 (6)について。

■事務局 ありません。

■会長 ではこれで議事は終わる。

4 閉 会

■事務局 (進行) これで協議会を終わる。

[閉 会]